

第35回

みんなでかこう、みんなに応募!

生協こどもの 4歳以上

作品
募集



入賞作品展示会・表彰式(11月6日)



会場 アイリス愛知2階「コスモス」



主催者あいさつ 山本会長理事



来賓あいさつ 柴田県民生活課長



表彰式 参加者112名(150名中)





絵と習字の応募が1,200点あり、愛知県知事表彰6名・愛知県教育委員会表彰4名など、優秀作品150名を表彰しました。



入賞者112名とご家族合わせて約350名の参加で盛大に開催



第35回生協こどもの絵と
習字作品募集 優秀作品



愛知県知事表彰
石川晴瑛さん（小学6年生）

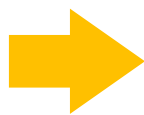
新鮮な草を食べて、みんなでのんびり暮らす牛たちの雰囲気がよく伝わってきます。また、大きな牛だけではなく、牛の耳のタグや牛にたかるハエ、そのハエを払うためにくるくると動く尾など、細かなところにも目が向けられています。色々な意味で、とても丁寧に仕上げられた作品です。



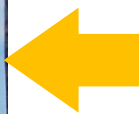
愛知県知事表彰
太田明良さん（小学5年生）

パレードで演奏される金管楽器の音色が、大いに七夕祭りを盛り上げています。演奏する人の一生懸命さが、マウスピースに押し当てられた唇や、目の表情から伝わってきます。風にたなびく七夕祭りを背景にするなど、構図もよく工夫されています。

愛知県知事表彰
太田岳希さん（幼児）

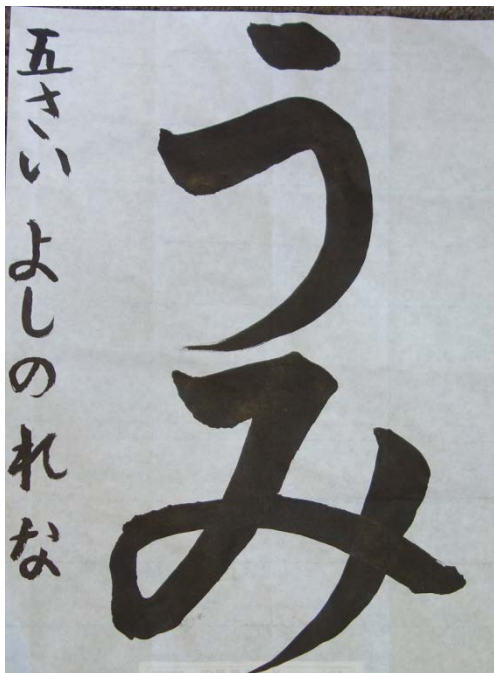


水遊びをしたときの楽しさ、気持ちよさが、噴水の力強い表現として表された作品です。筆で噴水を描いたとき、実際に噴き出した水の勢いを筆の動かし方で再現しながら、体を使って表現した様子が思い浮かびました。噴水の向こうの虹がとてもきれいです。



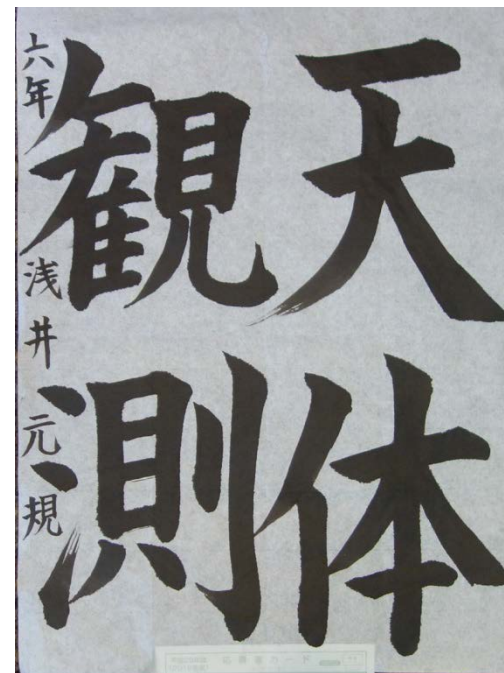
愛知県教育委員会表彰
上田三鈴さん（小学3年生）

モンゴルの民族衣装を着たとき、その姿を見つめるおうちの人や他のお客さんの笑顔。衣装を着た自分自身の楽しさだけでなく、まわりの人たちの楽しい雰囲気わかります。細部まで丁寧に、絵の具やクレパスを使って彩色したことで、衣装の美しさや質感まで表現できました。



愛知県知事表彰
芳野令奈さん
(幼児)

← 筆の入りからはらいまで、伸び伸びとしたやわらかい筆使いで大きく「うみ」が書けました。青い空の下で、砂浜に打ち寄せるさざ波の音が聴こえてきそうです。

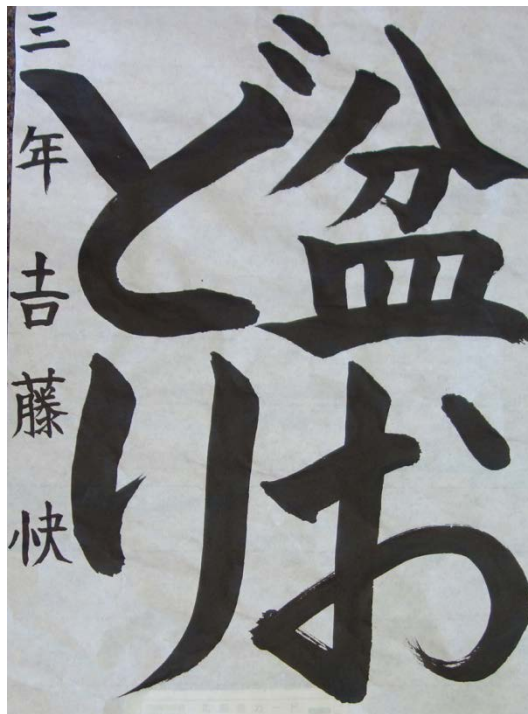


愛知県知事表彰
浅井元規さん
(小学6年生)

↑ 画数の多い字も伸びやかに夜空いっぱい広がる星空を連想させるすてきな作品に仕上がりました。はねやはらいもきれいですが、筆の入りの美しさが見事です。

愛知県知事表彰
吉藤 快さん
(小学3年生)

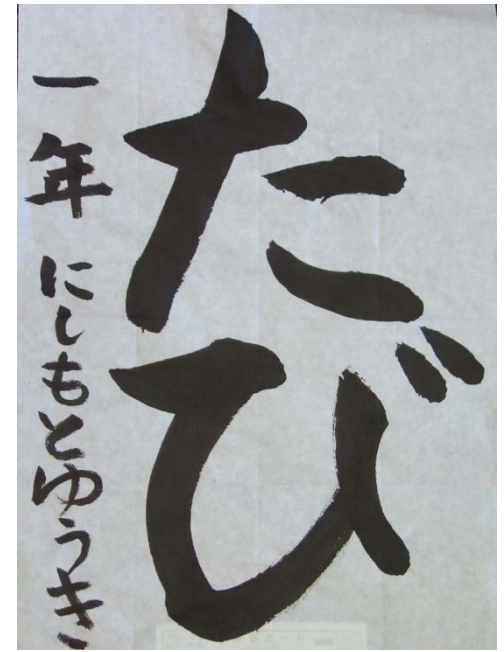
→ 大きな筆使いと特にはらいがすばらしいです。快さんは、この夏、盆おどりに行く機会がありましたか。みんながそろって踊っているような力強さと美しさを感じる作品です。





愛知県教育委員会表彰
深谷妙羽さん
(小学5年生)

「大輪の花」とはどんな花を思い浮かべましたか。朝顔かな、ひまわりでしょうか。大きくこちらを向いて開いているように、半紙いっぱいを使って丁寧に美しい字形で書けました。



愛知県教育委員会表彰
西元祐貴さん
(小学1年生)

元気よく、どこまでも歩いて行けそうな力強い「たび」が書けました。字形やバランスもすばらしいです。祐貴さんの夏の旅について、ぜひ聞いてみたくくなりました。

愛知県教育委員会表彰
椎葉芽生さん
(小学4年生)

漢字とひらがなの難しい四文字のバランスがしっかりとれています。一字一字を丁寧に書く芽生さんは、きっと友達も大切にしているでしょう。緑の里を笑顔でかけ回る姿が思い浮かびました。

